IT活用し灯油配送効率化

「スマートオイルセンサー」「GoNOW」（ゼロスペック製）導入

ITを駆使した灯油配送システムの構築により、配送効率化と労務改善の同時達成を果たした。朝倉石油（長野県茅野市、朝倉祐一社長・出光系）は昨年、国の補助を受けてゼロスペック（札幌市、多田満朗社長）が開発したIoTデバイス〝スマートオイルセンサー〟（SOS）とソフトウェア提供サービス〝GoNOW〟（GN）を導入。これらを連携した灯油配送システム運用はさらに人為的ミスを排除するとともに、より確かな安定供給体制が実現するなど、顧客の安心かつ快適な暮らしをサポートしている。

朝倉石油（長野県茅野市、出光系）

スマートオイルセンサーと配送管理する小泉マネージャー

同社が顧客の設置する灯油タンクにSOSを取り付けた数は現在500件に上る。エリアも広範囲のため、3㌔ローリーを中心に毎日稼働している。

システムの一連の流れは、灯油タンクのキャップと交換したSOSが距離センサーで1日8回残量を計測。個々の顧客データは本社パソコン上で管理するGNに1日2回送信される。

この機能に外販部の小泉剛マネージャーは、「システム導入前は現場に行ってみないと残量がわからなかった。特に冬場の別荘地は灯油の使用がそれぞれ大きく異なるので、ドライバーが雪をかき分けて訪問し残量を確認する厳しいもの。システム導入でこれに費やす労力と時間がいらなくなった」と現場に寄り添う機能を歓迎する。

一方、GNでは顧客それぞれ異なる消費傾向に沿って事前設定した配送サイクルを基に、本日から1週間先まで各日配送する顧客リストを受信データと照合のうえ、補給猶予としてリスト表示される。その際、画面リストには緊急度が高く本日必達すべき顧客を赤、緊急度2～3日猶予の顧客をオレンジでそれぞれ自動的に色分け。緊急度が一目瞭然でわかる仕組みとなっている。さらに運用面も簡略化されており、例えば4日後指定の配送顧客が赤表示の場合、当該顧客名を当日配送覧にドラッグ&ドロップするだけでタブレット端末を持つドライバーと更新情報が共有される。

この色分け効果について「これまで熟練スタッフにしかできなかった配送計画の組み立てがこのシステムで完結できるようになった」と高く評価する。

さらに同社は、配送ルートを効率的に作成するため、システムに〝BUSINESS NAVITIME〟を紐付けた。これにより、配送計画で稼働するドライバーが作業完了を端末報告した時間でおおよその現在地が掴めるため、新規・追加オーダーが突発的にあった際にも、オーダー先から最も近いドライバーを地図上で特定して連絡できる。これらシステムへの転換で「紙ベースと比べ時間効率は飛躍的にアップした。さらに人為的ミスが解消されたことに加え、ドライバーのストレス軽減と配送時間の短縮にもつながった」と労務改善効果を強調する。

朝倉社長は経営者の立場で導入メリットを総括し、「配送コストに対する灯油の収益性は上がった。キャップ1個で顧客の囲い込みが図れるのに加え、販売量が事前に読めるようになったのは大きい」と評価。そのうえで「デジタルをいかに使いこなせるかがカギ。これまでも配送効率化にチャレンジしたが、今回は顧客の安心安全を守る観点からも画期的だった」との認識を示す。

ミス解消、省力化にも貢献

一部小動きも小康続く

今週のガソリン　市況　4月第2週

今週のガソリン小売市況概況（4月2週）

	ベンチマーク 前週	ベンチマーク 当週	備考 ※斜字はフル
北海道	￥168	￥166	*札幌市・地場・系列*
北東北	￥159	￥161	秋田市・広域・系列
南東北	￥167	￥167	*仙台市・広域・系列*
信　越	￥155	￥159	新潟市・地場・系列
北関東	￥162	￥162	宇都宮市・販社・系列
首都圏	￥158	￥158	松戸市・地場・系列
山　静	￥168	￥168	*静岡市・広域・系列*
東　海	￥154	￥154	鈴鹿市・広域・系列
北　陸	￥164	￥164	福井市・地場・系列
京　阪	￥168	￥168	八尾市・地場・系列
阪　神	￥165	￥165	神戸市・地場・系列
山　陽	￥157	￥157	岡山市・地場・系列
山　陰	￥173	￥174	*米子市・地場・系列*
四　国	￥171	￥171	*高松市・地場・系列*
九州北	￥167	￥167	*福岡市・地場・系列*
九州中	￥160	￥160	熊本市・地場・系列
九州南	￥175	￥175	宮崎市・地場・PB

◎北海道…札幌市は2～4円の値崩れが見られ、セルフ161～3円、フル163～8円表示に軟化した。安値量販セルフは1円安の158・8円に値下げした。石狩市のコストコは152円で変わらず。

◎東北…セルフは仙台市で150～167円と変わらず。秋田市は156～163円で横ばい。福島市は157～172円、盛岡市は152～6円、青森市は154～7円、山形市は158～179円でいずれも変わらず。

◎北関東…群馬は高崎市はほぼ横ばいで160円台半ばが中心。栃木は県北が162～4円、県央が158～160円、県南は159～161円程度で推移している。茨城は160円前後が中心で推移。

◎首都圏…埼玉は横ばいで推移セルフの会員160円前後が中心に。千葉は150円台半ばから後半が増えて全体的に横ばい基調で推移している。東京都内の主要幹線沿い量販店は小幅な上下動が散見されるものの、フリー160円台前半中心での推移が続く。

◎山静…静岡市は159～161円、県東部は164円前後、県西部は162～4円が多く、値上がり傾向で推移。山梨は中心価格帯は170円前後で横ばい傾向で推移している。

◎東海…愛知は軟化し、岐阜、三重はほぼ横ばいで推移した。愛知は名古屋、尾張地区が160円前後、三河地区は158円程度が目立つ。岐阜は164円前後、三重は160円前後。愛知、岐阜のコストコは149～150円。

◎北陸…石川、富山はほぼ横ばい。福井は上昇した。石川は166円前後、富山は164円前後、福井は168円前後が多い。

◎近畿…大阪は168円前後を中心とした市場で安定基調。神戸市以西はほぼ165円前後が中心価格帯となり、さらに値上がり傾向も見られる。

◎中国…セルフは広島市で157～9円前後、岡山市155～7円前後、山口市164円前後中心と横ばい。米子市は1円程度上がって172円前後、松江市も1円程度上がって168円前後中心となっている。

◎四国…セルフは徳島市で3円程度上がって162円前後に。高松市は169～171円中心、高知市は176円前後と横ばい。

◎九州…主要都市は一部で小幅上昇しているが、総じて小康状態に。長崎市は176円前後、佐世保市は162円前後、大分市は176円前後で推移している。

多量配達灯油 0・13円上昇

札幌市モニター

【札幌】札幌市消費生活課が10日に実施した石油製品小売価格調査の結果によると、ホームタンク向け多量配達灯油（200㍑程度以上）の平均価格は113・69円。3月24日調査から0・13円値上がりした。

調査店100店（うち取り扱い休止・なし29店）の最多価格は112円（23店）。最安値は104円（1店）、最高値は131円（1店）。

ガソリン（現金）はフルが165円で3円、セルフが161円で4円の値下がり。軽油（同）はフルが148円で3円、セルフが143円で5円値下がりした。

業界支援獲得へ声を

油政連関東支部　運動方針案など確認

全国石油政治連盟関東支部（岡田昌之支部長）は7日に県連会長会議を開き、2023年度の運動方針案などを確認したほか、全石連の加藤文彦副会長・専務理事が「炭素に対する賦課金」などグリーントランスフォーメーション（GX）実現に向けた国の政策などの動向を説明した。

議事では、運動方針案として「〝GX経済移行債〟活用を含むSS経営継続と経営革新に資する諸施策の実現」、「合成燃料の早期商用化を促す諸施策の実現」をはじめ、油政連の組織力強化に向けた取り組みを推進することなどを決めた。

6月2日に都内で開催する通常総会で正式決定する。また、災害協定と官公需の一体化の推進に向け、国や地方公共団体、地方議会等への要望活動の重要性を改めて確認し、各地の成功事例などを情報共有していく。

冒頭、岡田会長（写真中央）が、欧州委員会とドイツの合意により、35年以降EUでも合成燃料を使用すれば内燃機関の販売が認められる方向性が示されたことに言及し、「合成燃料の早期商用化を含め、業界の存続、発展につながる支援が得られるよう、活発に議論していきたい」と訴えた。

HV含め電動化加速

新体制の方針発表　多様な選択肢追求

トヨタ

トヨタは7日、新体制方針説明会を開き、佐藤恒治社長（写真中央）、商品担当の中島裕樹副社長と事業・販売担当の宮崎洋一副社長が登壇、「継承と進化」に向けて〝チーム経営〟で未来への挑戦を加速する決意を強調し、エネルギーの展望と地域性に寄り添うマルチパスウェイを軸に多様な選択肢を追求する道筋を明示した。

モビリティカンパニーへの変革を目指す佐藤社長は「クルマがこれからも社会に必要な存在であり続けるためには、クルマの未来を変えていく必要がある」としたうえで、①カーボンニュートラル（CN）への対応②移動価値の拡張―をテーマに掲げた。①では、いまできる電動化を徹底的にやり、HV販売強化とPHV選択肢を増やし、EVラインナップも今後数年で拡充するほか、次世代EV開発や水素社会の実現に向けたプロジェクトを加速する。また、エネルギー産業と連携しCN燃料の技術開発も進める。②では、クルマが人々の暮らしを支える様々なサービスと密接につながり、モビリティを軸に新たな付加価値の輪を広げる。

これを受けて中島副社長は、2026年までに新たなEV10モデルを投入して年間の世界販売150万台を計画、26年には航続距離2倍の次世代EVも投入する考えを明らかにした。PHVもEV航続距離を200㌔以上に延ばすことで「プラクティカルなEVと再定義し、開発により力を入れる」とともに、FCVは「商用車を軸に量産にチャレンジする」などと説明。新車の20倍にも及ぶ既保有車についても「CN燃料でCO₂削減に取り組む」とし、その普及拡大に期待を寄せた。

亀井、阪田、森野3氏
第32回音楽賞受賞
出光

出光興産は先ごろ、主催する「第32回出光音楽賞」の受賞者を発表した。受賞者にはそれぞれ賞状と賞金300万円が贈られる。

受賞者は次の3人。①亀井聖矢さん。21歳のピアノ奏者。昨年、ロン＝ティボー国際コンクールで第1位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞している。②阪田知樹さん。29歳のピアノ奏者。2021年、世界3大音楽コンクールの1つ、エリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門で「多彩な音色を持つ、知性派ヴィルトゥオーゾ」と称えられ第4位。③森野美咲さん。34歳のソプラノ歌手。第27回ヨハネス・ブラームス国際コンクール声楽部門で日本人初優勝、第87回日本音楽コンクール声楽部門で第1位受賞。

同賞は90年に制定され、主にクラシックの音楽活動を対象に、育成という観点から意欲、素質、将来性などに重きを置き、新進の音楽家を顕彰している。

突然の仕切りベース上げに疑問と困惑

関東・元売子会社一部販売店

元売子会社の一部販売店が思わぬ仕切りのベースアップ要請に困惑の色を濃くしている。その理由として関東地方の当該販売店は「担当者の話では、これまでの合併経緯の中で、他社と比べ貴社の仕切りが安くなったのでこの均衡を図りたいとの名目だったが、よくわからず釈然としない」と説明の不十分さを強調し、現在も合意には至っていない。

当該業者によると、元売子会社がこれを最初に持ちかけたのは昨年末。担当者は「強制ではない」との前提で「個別案件となるが、いまの仕切りベースを60銭上げさせてほしいと言われた」と話す。その際、説明された値上げの理由には不明瞭な点があるとして「この会社の合併はずいぶん昔の話。それとも、元売再編に伴う子会社合併のことを言いたかったのかすら理解できなかった」と煙に巻かれた感覚を振り返る。

この要請に難色を示すとその後の交渉で「ならば40銭上げで合意してもらいたいと値上げ幅を削ってきた。この玉虫色のスタンスに正直言って担当者のさじ加減で値上げ幅が変化するのかも知れないと感じた」と疑心暗鬼になっている。

さらに当該業者は元売子会社が交渉を持ちかけた時期と照らし「年度末までに販売店と合意形成を図り、4月1日から実施したい思惑があるようだった」との見方を示す反面、4月入り時点で両者は合意に達していない。

そうした状況下「販売店にとってSS経営基盤の根幹に関わる最も重要な仕切価格の交渉がこれとは、いかがなものか。仕切りフラット化に向け、安く当てはまる販売店に対し全国実施するとのことだが、同じ境遇下にある販売店の話を聞いてみたい」と納得いかない表情を見せる。

量販店は無視、採販貫く

鹿児島・指宿

マーケットView

鹿児島湾を挟み、薩摩半島と大隅半島を擁する鹿児島県。指宿市は薩摩半島の南端にある温泉地で、海辺を観光列車が走り、高温の砂に埋まって入浴する「砂蒸し温泉」の街としても知られる。

人口3万8千人足らず。他の地方都市と同様にSSの自然減が進み、いまは商系24ヵ所とJA系2ヵ所が散在している。商系が180円前後の価格帯を示す中、20円程度の価格差の看板を掲げている販売店もある。

業界で淘汰が進む中、廉売店は特約店の販売店が閉鎖した際に店舗を借り受けて16～17年前に進出した県内資本で、鹿児島市を中心に安値SSを多店舗展開している。一般商系のSS経営者は「進出当初こそ気にはなったが、適正利潤を確保するという商売の本道を貫いてきたいまでは、気にもならない」と話す。観光都市だけに「うちも安くしないとやっていけない」という。市内業者の1人は「オカモトやアサヒとは棲み分けができている。フルはフルの適正価格を掲げている。セルフも彼らに反応することはない」と冷静な表情で話す。

観光客増に期待を寄せる市街地のSS

市内のSSスタッフは「コロナが収まり始めた3月以降、県外ナンバーやレンタカーの給油客も目立ち始めた。これから挽回していきたい」と意気込む。

北海道・滝川

安値グループと一線、棲み分け

廃業SSを量販灯油業者が配送基地にしている

北海道のほぼ中央に位置する空知地方の中心都市・滝川市。芦別市など周囲の産炭地から産出される石炭を運び出す交通の要衝として役割を担い、1960年代まで発展を続けた。それに伴い、モータリゼーションの追い風も受けてSSも順調に増加。94年度には25ヵ所を数えたものの、これをピークにして、その後は減少の一途をたどっている。

現在の市内のSSは全部で14ヵ所。そのうちホクレン系が3ヵ所、オカモトグループ（本部・帯広市、ENEOS系）とアサヒ商会（函館市、PB）が各1ヵ所など組合員外のSSが多数派を占めるのが特徴だ。空知地方石協に加入しているSSは5社各1ヵ所の計5ヵ所しかない。

市内を縦に貫く国道12号の起点は札幌市、終点は旭川市。道内2大マーケットのほぼ真ん中に位置する滝川市場だが、両市場の影響はかつてと比較すると弱まっている。さらに、市内に進出した安値量販グループが掲出する価格に揺さぶられること表裏一体だ。

GoNOW
https://5-now.com/
お正月なのに
ゆっくり休めた。
毎日残量を
見に行く必要が
なくなった。

配送計画が誰でも簡単に1年分作れる！
残量が
一目で分かる。
工事不要で簡単に設置できた
ZEROSPEC https://www.zero-spec.com/
SSの事業再構築・経営力強化事業（設備導入等支援事業）　灯油タンク等スマートセンサー　補助申請が可能です。（2023年4月28日迄）
WEBでの無料相談はこちらから ▶
補助申請期間臨時電話 011-218-0155
※土・日、祝日を除くAM10:00～PM18:00